

第1 平成19年度予算のポイント

《基本的考え方》

国際競争力の強化、地域の活性化・都市再生、国民の安全・安心の確保、快適で豊かな国民生活の実現等の課題に的確に対応していくため、重点化・効率化を進めながら、必要な事業・施策を実施し、社会資本の着実な整備や総合的な交通政策の推進を図る。

《予算の規模》

| | |
|-------------------------|------------------------------|
| 公共事業関係費 〔経済成長戦略推進施策〕 | 5兆4,428億円(0.97倍) 1,090億円] |
| 〔 一般公共事業費 災害復旧等 | 5兆3,893億円(0.97倍) |
| | 534億円(1.00倍) |
| その他施設費 〔経済成長戦略推進施策〕 | 604億円(1.16倍) 8億円] |
| 行政経費 〔経済成長戦略推進施策〕 | 5,593億円(0.95倍) 33億円] |
| 合 計 | 6兆 626億円(0.97倍) |

(注) 各計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがある。

| | |
|------------|------------------|
| 財政投融資 | 3兆9,808億円(1.09倍) |
| 財投機関債発行予定額 | 4兆6,995億円(1.10倍) |

1. 予算の重点化

国際競争力の強化、地域の活性化・都市再生、国民の安全・安心の確保、快適で豊かな国民生活の実現といった当面する重点課題に対応するための事業・施策を重点的に推進するとともに、各事業・施策分野においても、その目的・成果に踏み込んできめ細かく重点化し、限られた予算で最大限の効果の発現を図る。

2. 成果重視の施策展開

政策評価等の結果を踏まえ、コストの縮減を図りつつ、ハードとソフトの連携、PFI手法の活用、ストックの計画的な修繕等の実施等により、成果目標の達成に向けて効率的な施策展開を図る。

3. 特別会計等の見直し

- ・ 所管特別会計について、公共事業関係5特別会計を平成20年度に統合し社会資本整備事業特別会計とするとともに、自動車関係2特別会計を平成20年度に統合し自動車安全特別会計とする等の見直しを行う。
- ・ 道路特定財源については、「道路特定財源の見直しに関する具体策」（平成18年12月8日閣議決定）に基づく見直しを進める。